

### 【2019年3月23日～2019年3月29日までの推移】

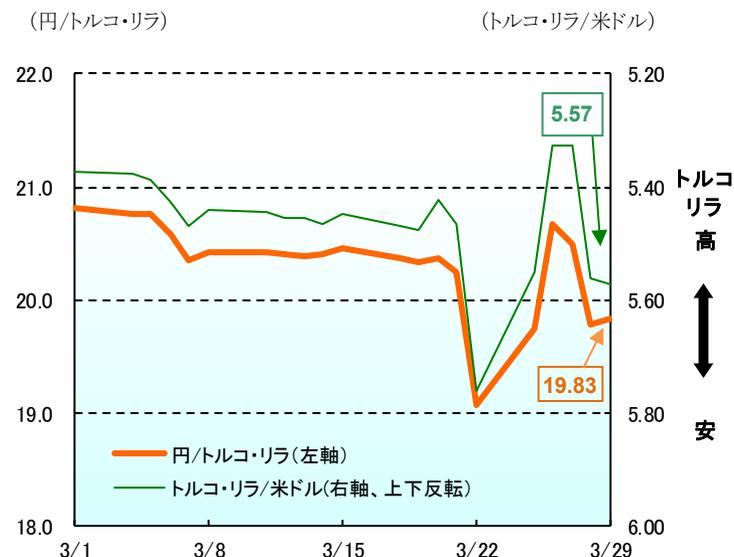
#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利も上昇しました。

先週は、トルコ当局が国内金融機関に対し、海外金融機関にトルコ・リラを貸し出さないよう要請したと報じられました。その結果、トルコ・リラの調達金利が急騰し、トルコ・リラの買い戻しにつながりました。トルコ・リラは対米ドル・対円ともに上下しましたが、一週間を通してみると上昇しました。国債はトルコ・リラの流動性懸念からリスク回避的に売られ、金利は大幅に上昇しました。

統一地方選挙では、首都アンカラでは与党AKP(公正発展党)の敗北が確実となっているほか、最大都市イスタンブールでもAKPの劣勢が報じられています。

【トルコ・リラ 為替推移】(2019年3月1日～2019年3月29日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

#### 【2】今週の見通し

今週は引き続き統一地方選挙の開票結果が発表されるなど、政治的なヘッドラインが注目されそうです。市場が警戒していた選挙を通過したことは一定の安心材料と言えます。しかし、選挙結果を受けて与党AKPやエルドアン大統領は、国民の支持を挽回するため、追加の景気浮揚策などを打ち出し、財政の悪化が懸念される可能性があります。

また、足元のトルコ・リラ相場は、相対的に落ち着きを見せていますが、海外金融機関にトルコ・リラを貸し出さないよう要請する窓口指導自体が強硬的な手段であり、かえって国外からの投資を妨げる要因となる可能性があります。引き続き、トルコ当局の動向や市場のリスクセンチメントにも注意が必要と考えます。

【トルコ 金利推移】 (2019年3月1日～2019年3月29日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>